



信(しん)頼 と 伝(でん)統

『 生き生き元気、伸び育つ新田っ子 』

学校教育目標(目指す児童像) よく学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

新田中学校区の目指す子ども像

自ら学び(探究心)心豊かに(共生心)たくましく生きる(自律心)新田中15歳の姿

次に生かす反省とは



校長 嶋田 弘之

木々の葉もすっかり落ち、冬の訪れを感じる季節となりました。11月は市内音楽祭や、教育講演会、幼保小交流、学校公開(避難所開設訓練、ふれあいまつり)、相撲教室など保護者・地域の方々には、多大なご支援を賜りました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。今学期の活動は、天候に大きく左右されることなく運営・実施できました。(左の写真は修学旅行の最初の訪問地、鶴ヶ城です。)このことにより子供たちの心も体も大きく成長しているように感じます。

さて、早いもので一年の終わりを迎えます。新しい年を迎える準備にあたり「反省無益(はんせいむえき)」という言葉を紹介します。

この言葉は、文字どおり「反省しても、それを次に生かさなければ意味がない」という意味です。例えば、テストで思ったより点数が取れなかったとき、「ああ、もっと勉強しておけばよかったな」と思うだけでは次に同じことを繰り返してしまうかもしれません。

では、どうすることが有益な反省になるのでしょうか。「どうして間違えたのか」「次はどうやって勉強しようか」と考えて、それに従って行動を変えることです。

冒頭紹介しただけでも、子供たちは有意義な経験を積んでいます。1年生や5年生は、幼稚園や保育園の幼児と交流して、相手のわがままを許したり相手のしてほしいことを先回りしてやってあげたりするなど、優しさや思いやりの心をもって接することができました。ふれあいまつりでは、地域の方々や保護者の皆さんと楽しい時間を過ごし、たくさんの人に支えられていることを実感できたと思います。

こうした経験を通して、「うまくできたこと」「もっとこうすればよかったこと」があったのではないのでしょうか。大切なのは、その経験をふり返ること、そして、それを普段の同級生との学校生活に具体的に生かすことを考えて行動することです。

新しい年の始まりは、同時に、学年のまとめを意味します。新しい自分となるチャンスと捉え、有益な反省をしてみましょう。

結びに、年末年始は、ご家庭でゆっくりと過ごす貴重な時間でもあります。ぜひ、ご家族でこの一年を振り返り、お子さんの成長を認め合い、温かい言葉をかけていただければと思います。寒さが一段と厳しくなる季節、どうぞご自愛の上、よいお年をお迎えください。